

第13回 稲門建築会特別功労賞
栗生 明氏 (苗S46) 千葉大学大学院工学研究科教授

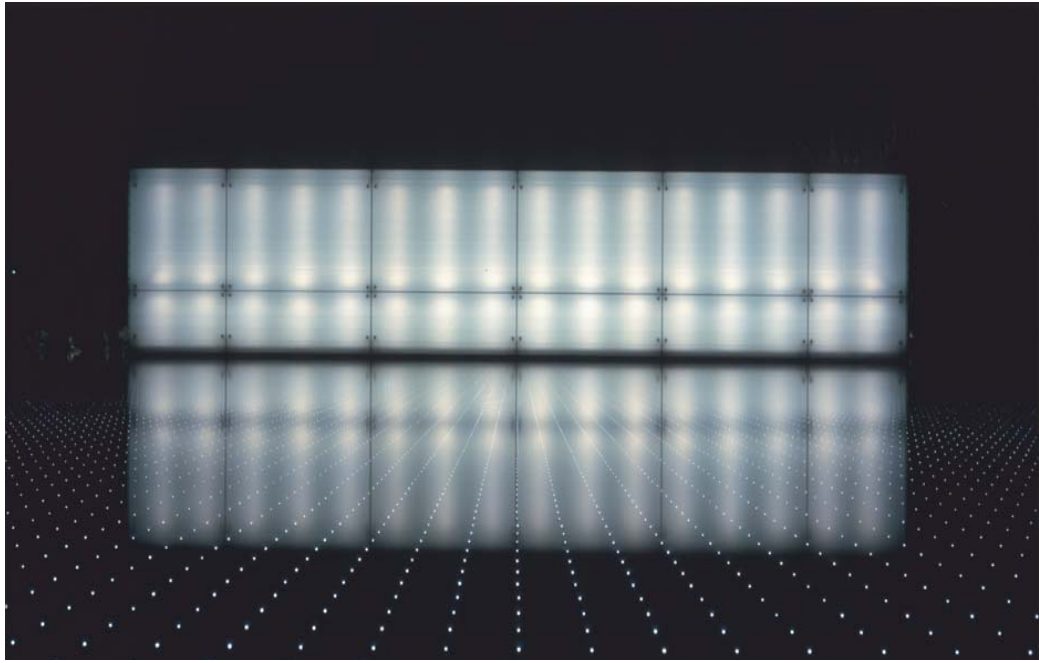
表彰理由：

栗生明氏は楨総合計画事務所6年在職後、独立し建築家として多様な作品を作り続けている。アトリエ設立後直ぐに「サンスクエア・ヤマノタ」の商空間デザイン大賞を初め、「カーニバル・ショーケース」では新日本建築家協会新人賞を、「植村直己冒険館」では日本建築学会作品賞、「平等院宝物館」では日本芸術院賞、「長崎原爆死没者追悼平和祈念館」では村野藤吾賞など様々な受賞歴がある。どの作品も施主のニーズを分析、場所固有の環境と建築の機能を融合し、新しい社会への提言を追及している。

教育においては本学非常勤講師として指導、1992年からは千葉大学に助教授として赴任後1996年に教授となり、現在まで17年間新しい建築と都市の在り方を学生に示唆し続けている。その人柄の良さと指導力は、今後の当会にとって世代を超えて大きな繋がりを期待出来る人材として稲門建築会特別功労賞に値するので推薦いたします。(推薦者： 奥平与人)

略歴

- 1973 早稲田大学大学院工学研究科建築計画専攻 (修士課程) 修了
- 1973 株式会社楨総合計画事務所入社
- 1983 早稲田大学工学部非常勤講師 (建築科)
- 1987~ 株式会社栗生総合計画事務所と改称、代表取締役
- 1992 東京大学工学部非常勤講師 採用 (建築学科)
- 1993 千葉大学工学部教授 昇任 (建築デザイン、建築設計)
- 2000 東京工業大学工学部非常勤講師 (建築学科)
- 2006~ 千葉大学大学院工学研究科教授



「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」

2005 バーバラカポチン国際建築ビエンナーレ賞最優秀賞
 2006 第19回村野藤吾賞 他

「植村直己冒険館」

1996 平成8年度日本建築学会賞



「平等院宝物館」

2003 日本芸術院賞

